



齒科放射線

Dental Radiology

NPO法人 日本齒科放射線学会

Official Journal of the Japanese Society for
Oral and Maxillofacial Radiology

第61卷 2021
増刊号

<https://www.jsomfr.org>

齒科放射線
Dent. Radiol.

NPO 法人 日本歯科放射線学会 第61回学術大会・第17回定例総会

プログラム・講演抄録集

学術大会メインテーマ

もっと知りたい、歯科放射線

会 期：2021年5月21日(金)～ 23日(日)

大会長：倉林 亨

東京医科歯科大学大学院 口腔放射線医学分野

会 場：Web開催

ご挨拶

NPO法人 日本歯科放射線学会 第61回学術大会

大会長 倉林 亨 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
口腔放射線医学分野 教授



このたび NPO 法人日本歯科放射線学会第61回学術大会を2021年5月21日から23日までの日程で、沖縄県那覇市にて開催させていただくこととなりました。私どもの講座が春の学術大会を担当させていただくのは、佐々木武仁前教授が第36回学術大会を担当された1995年以来約25年ぶりであり、また歯科放射線学会としては初めての沖縄開催ということもあって、メンバー一同はりきって準備を進めてまいりました。

本大会は開催テーマを「もっと知りたい、歯科放射線」とし、学会員の先生方はもちろんですが、日常歯科放射線を専門としない先生方にも多数ご参加いただき、歯科放射線学の魅力を知っていただきたいと思っています。

恒例の花村信之メモリアルレクチャーは、昭和大学歯学部の荒木和之先生にご担当いただきます。長年歯科放射線学の教育、研究、診療の第一線で活躍されてきた荒木先生には、歯科画像診断のエッセンスについてお話しいただけるものと楽しみにしています。教育講演としては、頭頸部画像診断学にも造詣の深い岐阜大学の加藤博基先生に隣接領域である鼻腔副鼻腔の画像診断、新潟大学の勝良剛詞先生には医療連携の観点からも重要な課題である放射線治療患者の口腔管理の要点についてお話していただきます。更に医学研究における研究倫理の専門家である琉球大学の植田真一郎先生には、我々が知っておくべき医療倫理について、最新の知見をふまえてお話をいただく予定です。これらのご講演は、新たに立ち上がった歯科専門医制度に合わせて、専門領域研修と位置付けておりますが、必ずしも歯科放射線専門医のみに要求される知識ではなく、我々歯科医師の日常の臨床においても必要とされる内容であると思います。ぜひ多くの皆様にお聞きいただきたいと思っています。

2020年は新型コロナウイルスが猛威をふるい、最大のイベントであった東京オリンピック・パラリンピックまでもが延期となりました。また我々が開催を楽しみにしていた岐阜での歯科放射線学会学術大会・アジア顎顔面放射線学会を含め、4月以降はほとんどすべての学会が中止（延期）またはWeb開催などに変更されました。未だ予断を許さない状況ではありますが、本年5月には感染防止に十分な注意を払った上で本学術大会を予定どおり開催し、南国沖縄の地で多くの皆様とお会いできることを心から願っています。どうぞよろしくお願ひ致します。

追記：Web開催への変更について

本学術大会は当初沖縄県那覇市での対面での開催を予定していました。その後新型コロナウイルスの感染拡大が収束しない中で、現地とライブ配信のハイブリット方式での開催に切り替え、歯科放射線学会はじめての沖縄開催を何とか実現するために準備を進めてまいりました。しかし3月末になり、特に沖縄県では第4波の到来が強く危惧される状況となったことから、最終的には現地開催を断念し、完全なWeb開催に変更することと致しました。この間度重なる変更によって、参加予定の先生方には多大なご迷惑をおかけしたことをあらためてお詫びいたします。

南国の地で皆様とお会いすることは残念ながらできませんでしたが、Web開催にはWeb開催ならではの多くのメリットがあると言われていています。本大会に参加される先生方には、すべてのご講演および研究発表をWeb上でじっくりと視聴または閲覧していただき、歯科放射線学の魅力をあらためて認識していただきたいと願っています。

2021年4月1日

NPO 法人日本歯科放射線学会

第61回学術大会・第17回定例総会のご案内

NPO法人日本歯科放射線学会第61回学術大会・第17回定例総会を下記の要領で開催いたします。

記

〈大会ホームページ〉 <https://omfr61.secand.net>

NPO 法人日本歯科放射線学会第61回学術大会・第17回定例総会のホームページを設けております。

1. 会 期

2021年5月21日(金)	常任理事会、理事会、代議員会
2021年5月22日(土)	一般講演(口演・ポスター発表) 教育講演(専門領域研修) 総会・受賞講演
2021年5月23日(日)	一般講演(口演・ポスター発表) 教育講演(歯科専門医共通研修) 花村信之メモリアルレクチャー

2. 会 場

Web会場への入り方につきましては、別途メールにてご案内いたします。視聴のため、ネットワーク環境の整ったPCのご準備と、Zoomアカウントの作成をお願いします。Zoomアカウントには、学会参加登録に用いたメールアドレスを用い、所属の登録もお願いいたします。

3. 大会テーマなど

(1) 学術大会メインテーマ

「もっと知りたい、歯科放射線」

(2) 教育講演(専門領域研修)

① 勝良 剛詞 先生(新潟大学医歯学総合病院 歯科放射線科)

「頭頸部放射線治療における口腔有害事象の基礎と対応」

- 口腔放射線腫瘍認定教育研修会と共催

② 加藤 博基 先生(岐阜大学大学院医学系研究科 放射線医学分野)

「鼻副鼻腔領域の画像診断」

(3) 教育講演(歯科専門医共通研修)

③ 植田 真一郎 先生(琉球大学大学院医学研究科 臨床薬理学・教授)

「研究倫理における被験者保護とサイエンス～ジェンナーからCOVID-19まで」

(4) 花村信之メモリアルレクチャー

荒木 和之 先生(昭和大学 口腔病態診断学講座 放射線医学部門)

「誰でもできる画像診断を目指して」

4. 発表要領

(1) 口演発表

- 1) 口演発表は、Zoom ウェビナー上で行います。
- 2) 1演題につき発表時間は8分、質疑応答は2分です。
- 3) 発表は、Microsoft PowerPoint (Windows, Mac) を用いてください。
- 4) Zoom ウェビナーの操作方法につきましては、会期1週間ほど前に学術大会運営事務局 (JTB 沖縄、Tel. 098-861-4040, E-mail : omfr61@okw.jtb.jp) による説明と接続テストを行います。緊急時のご連絡のため、携帯電話番号をお聞きしますのでよろしくお知らせください。

(2) ポスター発表

- 1) ポスターは、A0 (横841mm×縦1,189mm程度) で作成し、PDF にて保存してください。
- 2) 演題番号をプログラムにてご確認の上、演題番号、演題名、所属、発表者名をポスター上部20cmに記入してください。
- 3) ポスターのPDF ファイルは、4月14日 (水) ~5月12日 (水) の間に学会ホームページの発表要項の指定場所までご提出ください。
- 4) 当日の発表はなく、Web 上でのポスター公開を行いますので、わかりやすいポスターの作成をお願いします。また、学会会期中は参加者からのコメント機能での質問がありますので、Web 会場にログインして質問へのご回答をお願いいたします。ポスターは、6月3日17:00まで参照できるようにいたします。

(3) COI (利益相反) について

- 口演発表では、本ページ画面下にある「様式2」を参考に作成し、最初あるいは2枚目のスライドに開示をお願いいたします。
- ポスター発表では、最下段にCOIの開示をお願いいたします。

(4) 座長の先生方へのお願い

- 1) 口演は、Zoom ウェビナー上で行います。
- 2) 一演題につき発表時間は8分、質疑応答は2分です。タイムスケジュールの関係上、時間厳守での進行をお願いいたします。
- 3) Zoom ウェビナーの操作方法につきましては、会期の1週間ほど前に学術大会運営事務局 (JTB 沖縄、Tel. 098-861-4040, E-mail : omfr61@okw.jtb.jp) による説明と接続テストを行います。その際に、緊急時のご連絡のため携帯電話番号もお知らせください。

5. 学会参加のお手続き

- 事前登録参加は2021年1月5日(火)～2021年4月19日(月)です。
- 学会の参加登録はインターネット上で行います。事前参加申し込み登録システムに登録されると、登録完了メールが自動配信されます。
- 学会参加費は10,000円です。
- 2日目午前の教育講演(歯科専門医共通研修)
「研究倫理における被験者保護とサイエンス～ジェンナーからCOVID-19まで」
植田 真一郎 先生(琉球大学大学院医学研究科 臨床薬理学・教授)
の受講に関しては、別途費用2,000円が必要になります。受講を希望される方は、上記学会参加費に合算してください。
- 2021年4月30日(金)までに指定の口座へお振込をお願いいたします。会費の納入を持って、参加事前登録申し込みといたします。
- 振込は個人毎でお願いいたします。振込の際は、オンライン登録時の受付番号もご記入をお願いいたします。

【振込先】

銀行名：みずほ銀行(0001) 神田支店(108)

口座番号：普通3047409

口座名義：日本歯科放射線学会第61回学術大会準備委員会

(ニホンシカホウシャセンガツカイダイロクジュウイチカイガクジュツタイカイジユンビイインカイ)

6. 研修単位について

新しい歯科専門医制度に基づき、上記3.に記載した教育講演①～③を受講すると、それぞれ研修単位1単位(教育講演③では必修1単位)を取得できます。

また、教育講演の①を受講した場合は、口腔放射線腫瘍認定制度に基づく研修単位2単位が認められます。

7. 連絡先

〒113-8549 東京都文京区湯島1-5-45

東京医科歯科大学大学院口腔放射線医学分野内

NPO 法人日本歯科放射線学会第61回学術大会・第17回定例総会

準備委員長：渡邊 裕

Tel：03-5803-5545(ダイヤルイン) Fax：03-5803-0205

E-mail：orad2021@ml.tmd.ac.jp

5月21日金		5月22日土		5月23日日	
9:00		9:00~9:10	開会の辞		
		9:10~10:10	教育講演 1 頭頸部放射線治療における 口腔有害事象の基礎と対応 勝良 剛詞	9:30~10:30	教育講演 3 研究倫理における被験者保護とサイエンス ~ジェンナーから COVID-19まで 植田 真一郎
10:00	10:00 ┆ 11:30 常任理事会	10:20~11:20	一般口演 1 O-01 ~ O-06	10:40~11:40	一般口演 3 O-13 ~ O-18
11:00		11:30~12:30	一般口演 2 O-07 ~ O-12		昼 休 み
12:00			昼 休 み	12:40~13:40	花村信之メモリアルレクチャー 誰でもできる画像診断を目指して 荒木 和之
13:00	12:30 ┆ 14:30 理事会	13:30~14:15	定例総会 受賞講演	13:50~14:30	一般口演 4 O-19 ~ O-22
14:00		14:25~15:25	教育講演 2 鼻副鼻腔領域の画像診断 加藤 博基	14:30~14:40	閉会の辞
15:00	15:00 ┆ 16:00 代議員会		ポスター発表はオンデマンド配信(展示期間:5月22日~6月3日)にて行います 展示会場へは学術大会ホームページよりお入り下さい		
16:00					

プログラム

1日目 5月21日(金)

10:00～11:30 常任理事会
12:30～14:30 理事会
15:00～16:00 代議員会

2日目 5月22日(土)

9:00～9:10 開会の辞 大会長 倉林 亨(東京医科歯科大学)

9:10～10:10 教育講演1

司会：三浦 雅彦(東京医科歯科大学)

頭頸部放射線治療における口腔有害事象の基礎と対応

勝良 剛詞 新潟大学医歯学総合病院 歯科放射線科

10:20～11:20 一般口演1

座長：飯久保 正弘(東北大学)
関 健次(昭和大学)

O-01 パノラマエックス線写真による骨粗鬆症患者スクリーニングにおける 現在歯数の影響

田口 明 松本歯科大学 歯科放射線学講座

O-02 パノラマX線像の上顎洞の不透過性に対する被写体の位置づけと X線入射方向の影響

大蔵 真太郎 鶴見大学 歯学部 口腔顎顔面放射線・画像診断学講座

O-03 パノラマ画像による患者プロフィール取得の検討

小日向 清美 朝日大学 歯学部 口腔病態医療学講座 歯科放射線学分野

O-04 重篤なインプラント周囲炎の治療経過を追った一症例

芝 規良 明海大学 歯学部 病態診断治療学講座 歯科放射線学分野

O-05 無症状から10年間かけて増大した歯牙腫の一例

小倉 千春 日本大学 松戸歯学部 放射線学講座

O-06 歯牙腫摘出後の経過観察中に生じた Hyperplastic dental follicle の1例

前川 崇嗣 岩手医科大学 口腔顎顔面再建学講座 歯科放射線学分野

11:30~12:30 一般口演2

座長：角 美佐(長崎大学)
田中 達朗(九州歯科大学)

O-07 石灰化を伴った唾液腺悪性腫瘍の3例

吉田 祥子 福岡歯科大学 診断・全身管理学講座 画像診断学分野

O-08 単嚢胞型エナメル上皮腫2症例の画像的検討

岡畑 諒子 大阪大学 大学院歯学研究科 歯科放射線学教室

O-09 非復位性関節円板転位から復位性に改善した症例の病態の分析

五十嵐 千浪 鶴見大学 歯学部 口腔顎顔面放射線・画像診断学講座

O-10 口腔領域における片側優位の不快感と Trigeminal Neurovascular Contact の関与

渡邊 素子 東京医科歯科大学 歯科心身医学分野

O-11 Compressed SENSE 併用3D-T1TFE 法による下顎悪性腫瘍浸潤の評価
～CT・病理画像との比較～

加美 由紀子 九州大学大学院 歯学研究院 口腔画像情報科学分野

O-12 三叉神経痛患者のMRI 脳槽撮影におけるシーケンスの検討：
3D spin echo (SPACE) と3D gradient echo (CISS) との比較

富里 博 東京医科歯科大学 歯学部附属病院総合診療科 歯科放射線外来

13:30~14:15 定例総会・受賞講演

定例総会

学会賞受賞講演

座長：後藤 多津子(東京歯科大学)

川島 雄介 鹿児島大学 顎顔面放射線学分野

14:25~15:25 教育講演2

司会：金田 隆(日本大学松戸歯学部)

鼻副鼻腔領域の画像診断

加藤 博基 岐阜大学医学部大学院 放射線医学分野

3日目 5月23日(日)

9:30～10:30 教育講演3 [専門医共通研修]

司会：倉林 亨(東京医科歯科大学)

研究倫理における被験者保護とサイエンス
～ジェンナーから COVID-19まで

植田 真一郎 琉球大学大学院医学研究科 臨床薬理学教授・臨床研究支援センター長

10:40～11:40 一般口演3

座長：西山 秀昌(新潟大学)
大林 尚人(東京医科歯科大学)

- O-13** 顎骨中心性腫瘍における導帯管の CT 画像所見
小田 昌史 九州歯科大学 歯科放射線学分野
- O-14** 歯原性病変の鑑別診断：CT テクスチャ解析の適応
田口 美晴 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 口腔放射線医学分野
- O-15** 下顎骨を用いた性識別への相同モデル化技術の応用
中野 旬之 大阪医科大学 医学部 感覚器機能形態医学講座 口腔外科学教室
- O-16** 歯科用コーンビーム CT 撮影時に複数の金属間の海綿骨上に発生する
ストリークアーチファクトを独自に開発した画像解析ソフトウェアと
極値統計学を用いて評価したファントム実験
能村 嘉一 東京医科歯科大学 口腔放射線医学分野
- O-17** 歯科用 CT に対する関数解析と InteriorCT からの対策(3)
—フーリエ面と ρ フィルター再構成からの解析—
森田 康彦 いわき市
- O-18** 歯科用 CT に対する関数解析と InteriorCT からの対策(4)
—簡単なシュミレーション—
森田 康彦 いわき市

12:40～13:40 花村信之メモリアルレクチャー

司会：浅海 淳一(岡山大学)

誰でもできる画像診断を目指して

荒木 和之 昭和大学 口腔病態診断学講座 歯科放射線医学部門

13:50～14:30 一般口演4

座長：柿本 直也(広島大学)
戒田 篤志(東京医科歯科大学)

O-19 リンパ節サイズに着目した半導体および非半導体 PET 装置の
口腔扁平上皮癌リンパ節転移の診断精度

小嶋 郁穂 東北大学大学院歯学研究科 歯科医用情報学分野

O-20 舌癌に対する高線量率組織内照射後の¹⁸F-FBPA PET を用いた早期治療効果判定

島本 博彰 大阪大学大学院歯学研究科 歯科放射線学教室

O-21 頭頸部放射線治療後のう蝕発生の特徴

曾我 麻里恵 新潟大学医歯学総合病院 医療連携口腔管理治療部

O-22 口腔がんの定位放射線治療における再分布の意義

野島 瞳 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 口腔放射線腫瘍学分野

14:30～14:40 閉会の辞 大会長 倉林 亨(東京医科歯科大学)

ポスター発表

- P-01** 深層学習を用いたパノラマ X 線画像における片側性顎裂の検出と分類
 栗田 千亜紀 愛知学院大学 歯学部 歯科放射線学講座
- P-02** 頸部頸動脈狭窄症と歯槽骨吸収の関連について
 内田 啓一 松本歯科大学病院 初診室(総合診断科、総合診療科)
- P-03** 美容整形手術2年後に生じた注入剤を原因とする右側頬部膿瘍の1例
 久富 美紀 岡山大学病院 歯科 歯科放射線科部門
- P-04** Sclerosing Odontogenic Carcinoma の2例
 松本 邦史 日本大学 歯学部 歯科放射線学講座
- P-05** 下顎骨に発生した血管奇形の一例：CT と MRI 所見を中心に
 大塚 航平 日本大学松戸歯学部 放射線学講座
- P-06** 口腔症状を主訴とするメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の MR 画像について
 栗林 亜実 東京医科歯科大学 口腔放射線医学分野
- P-07** The apparent diffusion coefficient values of masticatory muscles are associated with temporomandibular joint disc displacement
 澤田 絵理 日本大学松戸歯学部 放射線学講座
- P-08** Relationship between Joint effusion and ADC values of masticatory muscle in the temporomandibular joint
 村岡 宏隆 日本大学松戸歯学部 放射線学講座
- P-09** リウマチ患者における下顎頭の ADC 値
 平原 尚久 日本大学松戸歯学部 放射線学講座
- P-10** ADC 値を用いた舌加齢変化の評価
 近藤 匠 日本大学松戸歯学部 放射線学講座
- P-11** 拡散強調磁気共鳴画像法による糖尿病患者の下顎骨髄の ADC 値
 岡田 俊也 日本大学松戸歯学部 放射線学講座
- P-12** Cine MRI による口腔癌患者の嚥下機能評価法の有効性
 田中 達朗 九州歯科大学 歯科放射線学分野

- P-13** 歯科用コーンビーム CT 検査時の臓器線量および実効線量について
—モンテカルロシミュレーションによる検討—
渡邊 裕 東京医科歯科大学 口腔放射線医学分野
- P-14** 根管充填材の歯科用 CBCT 検査によるアーチファクトの評価
小松 知広 日本大学松戸歯学部 放射線学講座
- P-15** 超解像畳み込みニューラルネットワークを適用して
CBCT 軟組織画像の軟組織ウィンドウ品質を向上させる
福田 元気 愛知学院大学 歯学部 歯科放射線学講座
- P-16** 歯科におけるフォトンカウンティングスペクトル CT の適用性
楊 偉勤 香港大学 歯学部
- P-17** CT によるエックス線高吸収体の実長計測に関する検討
—Window 設定の影響について—
泉 雅浩 神奈川歯科大学 画像診断学講座
- P-18** Relationship between mandibular cortical bone width and bone expansion in
odontogenic keratocyst using computed tomography
伊東 浩太郎 日本大学松戸歯学部 放射線学講座
- P-19** CT を用いた下顎皮質骨幅による顎骨骨折の定量的評価
板倉 剛 日本大学松戸歯学部 放射線学講座
- P-20** 機械学習による歯原性病変の CT 鑑別診断支援：
アンサンブル分類器の適応とその評価
坂本 潤一郎 東京医科歯科大学 口腔放射線医学分野
- P-21** 粒子線治療に用いるマウスピース材料の飛程誤差への影響評価
伊川 裕明 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 QST 病院
- P-22** 舌癌に対する小線源治療後の味覚変化
小西 勝 広島大学病院 歯科放射線科
- P-23** 低線量率放射線のがん化学放射線療法における意義
島袋 紀一 広島大学 医系科学研究科 歯科放射線学講座
- P-24** 深層学習システムの画像認識過程を人間が理解可能な抽象化過程に
近づけることは可能か？
西山 秀昌 新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面放射線学分野

- P-25** 口内法 X線撮影による個人識別における設置背面材料について
—大規模災害発生時における個人識別業務を想定して—
大高 祐聖 明海大学 歯学部 病態診断治療学講座 歯科放射線学分野
- P-26** 上部消化管内視鏡にて摘出した部分義歯床誤飲の1例
内田 啓一 松本歯科大学病院 初診室(総合診断科、総合診療科)
- P-27** Diffraction enhanced imaging at LEBRA: a preliminary study using a cat
mandibular osteosarcoma comparative with histological correlation
川島 雄介 鹿児島大学病院 顎顔面放射線科
- P-28** 日本の歯科学生とインドネシアの歯科学生・歯科衛生士学生における
放射線に対する理解度とリスク認識との関係
吉田 みどり 徳島大学 歯科放射線学分野

抄 録

教育講演 P16

花村信之メモリアルレクチャー P22

教育講演 1



頭頸部放射線治療における口腔有害事象の基礎と対応

勝良 剛詞

新潟大学医歯学総合病院 歯科放射線科
新潟大学医歯学総合研究科 顎顔面放射線学分野

歯科放射線学は画像診断学と放射線治療学で成り立っています。歯科放射線学の主軸は画像診断学ですが、歯科放射線学の専門家は放射線治療学の知識も必要です。

頭頸部は咀嚼、嚥下、消化、構音、発声、呼吸と多くの機能を持ち複雑な形態をしています。これらの機能や形態は一度損失すると回復が困難なことから、頭頸部がんの治療において機能や形態の温存が可能な放射線治療が選択されることが多くなっています。一方で、放射線治療は粘膜炎、口腔乾燥、う蝕、顎骨壊死など様々な有害事象を引き起こし、これらの対策が放射線治療の利点を最大限に生かすポイントになります。1972年に Carl らが Cancer に「放射線治療前の歯科介入による顎骨壊死発生率の大幅な減少とう蝕予防の可能性がある」と報告し、1992年に Fowler らが Red Journal に「放射線治療期間の延長が治療成績を低下させ、延長の理由は粘膜炎である」と報告したことで急性および晩期有害事象対策として口腔管理の重要性が認知されるようになりました。本邦においても平成24年に頭頸部放射線治療の医科歯科連携を推進させる目的で周術期口腔機能管理(Ⅲ)が診療報酬に盛り込まれ、令和2年度の診療報酬改定で増点されました。これには頭頸部放射線治療患者が安全に治療を受け、安心して治療後の生活を送るため「歯科」の立場からさらに支援して欲しいというメッセージが込められています。これは、頭頸部放射線治療の成績と質の向上への貢献の期待でもあります。この様な社会的ニーズから放射線治療の一端を担う口腔管理の役割は今後さらに重要になると思われます。また、治療の進歩によるがん生存率の向上に伴いがんサバイバーは増加しており、治療後の口腔管理を行うことは病院歯科のみでは困難であり、地域歯科診療所との連携が不可欠となってきています。しかし、頭頸部放射線治療の有害事象やその対応である口腔管理の情報は乏しく、地域歯科診療所のみならず病院歯科においても口腔管理に不安があるという声を耳にします。この様な社会的ニーズや背景から、頭頸部放射線治療における有害事象やその管理について、情報発信、歯学部教育、歯科衛生士教育をさらに充実させる必要があり、歯科放射線学教育の指針にもあるように、これらを行うのは歯科放射線学の専門家や歯科放射線学会の責務だと思われます。本教育講演では、頭頸部放射線治療における有害事象と口腔管理について基本的事項と最新のトピックスをアウトプットしやすいように整理してお話する予定です。

略 歴

1994年	新潟大学 歯学部 卒業
1996年	新潟大学 歯学部附属病院 歯科放射線科
1999年	新潟大学医学部 放射線科(放射線治療)
2004年	新潟大学 医歯学総合病院 歯科放射線科 講師
2013年～現在	新潟大学 医歯学総合病院 歯科放射線科 病院准教授

資 格

日本歯科放射線学会 歯科放射線 専門医・指導医
口腔放射線腫瘍 認定医

所属学会

歯科放射線学会(口腔放射線腫瘍認定委員)
日本がん口腔支持療法(副理事長)
MASCC/ISOO(粘膜炎研究班メンバー)
日本放射線腫瘍学会 など

受賞歴

2002年 日本歯科放射線学会 学術奨励賞
2005年 安藤正一賞
2006年 優秀論文賞
2019年 日本口腔腫瘍学会 優秀ポスター賞

著 書

- JAOSCC がん支持療法ガイドシリーズ がん治療に伴う粘膜障害マネジメントの引き 2020年度版. 金原出版, 2020年
- がん治療における支持療法のための口腔乾燥症対応マニュアル. がん研究振興財団, 2019年
- がん治療で起こる副作用・合併症の治療法と薬剤開発. 7節: 口腔粘膜炎・口内炎. 技術情報協会, 2018年
- がん口腔支持療法 多職種連携によるがん患者の口腔内管理. 第5章. 治療前のスクリーニングと管理, 第10章. 放射線療法の合併症概説, 第12章. 顎骨の放射線照射後の骨壊死(放射線骨壊死). 永末書店, 2017年
- Oral Cancer-Diagnosis and Therapy. Chapter 15: Oral and Dental Healthcare for Oral Cancer Patients : Planning, Management, and Dental Treatment. Springer, 2015年

一 般 口 演
抄 録

パノラマエックス線写真による 骨粗鬆症患者スクリーニングにおける現在歯数の影響

Effect of number of teeth present on screening of osteoporosis by panoramic radiographs

○田口 明、森 こず恵、山田 真一郎、長内 秀、黒岩 博子、杉野 紀幸
松本歯科大学 歯科放射線学講座

○Akira Taguchi, Kozue Mori, Shinichiro Yamada, Hizuru Osanai, Hiroko Kuroiwa, Noriyuki Sugino
Oral and Maxillofacial Radiology, Matsumoto Dental University

【目的】 歯科用パノラマエックス線写真上の下顎骨下縁皮質骨形態分類 (Mandibular cortical index : MCI) は最近のメタ解析において骨粗鬆症患者スクリーニングに有用と報告されている。一方で、歯の有無は顎骨内へ咬合力を伝えるため MCI に影響する可能性があるが、これまで現在歯数の影響を見た研究はない。本研究では現在歯数が MCI による骨粗鬆症患者スクリーニング能力に及ぼす影響について検討を行った。

【方法】 対象は2012年～2019年までに松本歯科大学病院放射線科にてパノラマエックス線写真を撮影した50～98歳(平均60.7歳)の男女患者7,346名(男性3,430名、女性3,916名)とした。顎骨の骨髄炎や悪性腫瘍を有するものは除外した。対象者の骨粗鬆症歴、高血圧歴、脂質異常症歴および糖尿病歴はカルテにて調査した。現在歯数(智歯は除く)はエックス線写真上でカウントした。MCIは、当科の歯科放射線科医が日常診療で決定した。現在歯数21本以下と22本以上の2群に分けて、骨粗鬆症有無を従属変数とし、年齢、性別、高血圧歴、脂質異常症歴、糖尿病歴を独立変数として、二項ロジスティック回帰分析により、骨粗鬆症有無とMCIとの関連について評価を行った。MCIの感度、特異度も算出した。本研究は松本歯科大学倫理委員会の承認を得て行われた。

【結果】 現在歯数21本以下は2,570名、22本以上は4776名であり、平均年齢(標準偏差)は70.8(9.3)歳および62.9(8.9)歳であった。骨粗鬆症ありの対象者は前者で110名、後者で104名であった。MCIで骨粗鬆症疑いありの対象者が骨粗鬆症を有する修正オッズ比(95%信頼区間)は、21本以下で1.90(1.00-3.62)、22本以上で4.58(2.54-8.27)であった。感度、特異度は21本以下で89.1%(82.0-93.6%)、39.4%(39.1-39.6%)、22本以上で85.6%(77.6-91.0%)、62.2%(62.0-62.3%)であった。

【考察および結論】 本対象者の中には未診断の骨粗鬆症患者が多く含まれている可能性がある。また体格、喫煙や生活習慣等の補正も必要と考えられる。制限はあるものの、本結果から、現在歯数が少ない場合、MCIは骨粗鬆症患者スクリーニングに有用ではない可能性が示唆された。

NPO 法人 日本歯科放射線学会
第61回学術大会・第17回定例総会
プログラム・講演抄録集

2021年4月16日 印刷

大会長：倉林 亨

準備事務局：国立大学法人 東京医科歯科大学（TMDU）
医歯学総合研究科 口腔放射線医学分野
準備委員長：渡邊 裕
〒113-8549 東京都文京区湯島1-5-45
TEL：03-5803-5545 FAX：03-5803-0205
E-mail：orad2021@ml.tmd.ac.jp

出版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>
